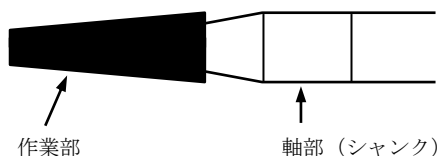


歯科材料 09 歯科用研削材料
一般医療機器 歯科用ダイヤモンドバー (16670000)
(歯科技工用ダイヤモンド研削材 (70902000))

マイジンガーダイヤモンドバー

【形状・構造及び原理等】



構造：本品は、シャック（軸部）と作業部からなる。

シャック及び作業部（基材部）	作業部（砥粒）
ステンレス鋼	ダイヤモンド

シャックの種類

シャック	軸径(mm)	全長(mm)※
FG	1.6	19
FGS	1.6	16.5
HP	2.35	44.5

※全長は標準値であり、器具の形態によって全長が異なることがある。

形態：全 93 種類

原理

歯科用又は歯科技工用ハンドピースに装着し、本品を回転させることにより、歯牙及び歯科補綴物等の研削に使用する。

【使用目的又は効果】

- 1) 微細なダイヤモンド結晶で砥着されたスチール製の作業部をもち、歯科用ハンドピースに装着し、歯牙、骨等の硬組織を研削するために用いる回転式の研削器具をいう。金属、プラスチック、陶材、及び同様の材料の研削に用いることもできる。
- 2) ダイヤモンドを用いる技工用研削材をいう。ポイント、ホイール、ディスク等を含む。

【使用方法等】

- 1) 使用前に必ず滅菌を行います。滅菌はオートクレーブ又はケミクレーブにて行います。オートクレーブは 115～118℃で 30 分、121～124℃で 15 分、126～132℃で 10 分又は 134℃で 3 分のいずれかの条件（日本薬局方、ISO17665 等に準拠）で行います。ケミクレーブ、E O G 及び薬剤は、各製造業者の指示に従って使用します。ただし、乾燥工程が 135℃を超えてしまう場合は、乾燥工程を省きます。
- 2) 歯科用駆動装置及びハンドピース又は歯科技工用回転機器に装着し、回転させて、ソフトタッチで断続的に被研削物に押し付けて研削、研磨します。

最大許容回転数*、**

医薬品医療機器総合機構 Web サイト上の、最新の電子化された添付文書に記載されている最大許容回転数以下で使用します。

形態名	シャック種類	ISO サイズ	最大許容回転数/分
DM801	FGS	010	450,000
DM801	FGS	012	450,000
DM801	FGS	014	450,000
DM801	FG	007	450,000
DM801	FG	010	450,000

形態名	シャック種類	ISO サイズ	最大許容回転数/分
DM801	FG	012	450,000
DM801	FG	014	450,000
DM801	FG	018	450,000
DM805	FGS	012	450,000
DM805	FG	014	450,000
DM805F	FG	014	450,000
DM806	FG	014	450,000
DM806	FG	016	450,000
DM808RF	FG	018	450,000
DM809R	FG	018	450,000
DM830	FG	021	400,000
DM830	FG	023	400,000
DM830F	FG	016	450,000
DM830F	FG	021	400,000
DM833	FG	016	450,000
DM835	FGS	008	450,000
DM835	FGS	009	450,000
DM835	FGS	010	450,000
DM835	FGS	012	450,000
DM835	FGS	014	450,000
DM835	FG	012	450,000
DM845	FG	010	450,000
DM845R	FG	016	450,000
DM845RF	FG	018	450,000
DM846	FG	016	450,000
DM846	FG	018	450,000
DM847G	FGS	014	450,000
DM847G	FGS	016	450,000
DM848	FG	016	450,000
DM848	FG	018	450,000
DM849	FG	014	450,000
DM849	FG	016	450,000
DM849G	FG	018	450,000
DM850	FGS	012	450,000
DM850	FGS	016	450,000
DM850	FG	016	450,000
DM850	FG	018	450,000
DM850C	FG	012	450,000
DM850F	FG	016	450,000
DM850F	FG	018	450,000
DM852	FG	016	450,000
DM852	FG	018	450,000
DM852C	FG	016	450,000
DM852F	FG	018	450,000
DM852G	FGS	016	450,000
DM858	FGS	014	450,000
DM858	FG	010	450,000
DM858	FG	014	450,000
DM858	FG	016	450,000
DM858C	FG	014	450,000
DM859	FG	010	300,000
DM859	FG	012	300,000
DM859	FG	014	300,000
DM859	FG	016	280,000

形態名	シャンク 種類	ISO サイズ	最大許容 回転数/分
DM861	FG	014	450,000
DM861C	FG	012	450,000
DM861F	FG	014	450,000
DM862	FGS	012	450,000
DM862	FG	012	450,000
DM862	FG	014	450,000
DM862C	FG	010	450,000
DM862C	FG	014	450,000
DM862F	FG	010	450,000
DM862F	FG	014	450,000
DM863	FG	012	450,000
DM863C	FG	012	450,000
DM867	FGS	010	450,000
DM867	FGS	012	450,000
DM867	FG	010	450,000
DM867	FG	012	450,000
DM867F	FG	010	450,000
DM867F	FG	012	450,000
DM868	FG	012	450,000
DM868	FG	014	450,000
DM872	FG	016	450,000
DM878	FG	012	450,000
DM878	FG	014	450,000
DM878	FG	016	450,000
DM879	FG	016	450,000
DM885G	FGS	012	450,000
DM890LC	FG	008	450,000
DMS805	HP	018	50,000
DMZ838L	FG	014	300,000
DMZ0801	FG	010	300,000
DMZ0833	FG	023	190,000
DMZ0850	FG	018	250,000
DMZ850F	FG	018	450,000
DMZ833F	FG	023	190,000

【使用方法に関連する使用上の注意】

- 1) 使用前に、ハンドピースが正常に作動することを確認すること。ハンドピースメーカーの指示に従ってシャンクを確実に奥まで挿入して、半チャックでないことを確認すること。
- 2) 使用前に口腔内で予備回転を行い、振れや異常がないことを確認すること。
- 3) 破折や加熱の発生を避けるため、過度の加圧をかけないように常に注意すること。特に、頭部が細い、長い又は大きい形状のものは、無理な角度で使用しないこと。また粒子の目の粗いものや大きい形状のものは、加熱の発生を避けるため、適切に冷却しながら使用すること。
- 4) 歯髄への為害防止のため、注水下でソフトタッチ（フェザータッチ）で使用する。
- 5) シャンク部への歯牙、補綴物又は修復物等の接触により、シャンク部が破折することがあるので注意すること。
- 6) 製品包装に記載されている最大許容回転数と、最新の電子化された添付文書に記載されている最大許容回転数が異なっている場合は、添付文書に記載されている回転数以下で使用する。*

【使用上の注意】

- 1) 使用注意（次の患者には慎重に適用すること）
 - ①薬剤、食品、アクセサリ、化学物質等に過敏症の既往歴がある患者には、本品及び類似品に対して過敏症歴がなくても問診を行い、慎重に適用すること。
- 2) 重要な基本的注意
 - ①本品の使用により、発疹等の過敏症を起こした患者には、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けさせること。
 - ②本品に対して、発疹や皮膚炎などの過敏症の既往歴のある術者は、本品を使用しないこと。また、使用により過敏症状を起こした時はすぐに使用を中止し、すぐに医師の診断を受けること。

- ③本品の使用により金属アレルギーが現れる可能性がある中で、金属アレルギーの患者に使用しないこと。
- ④患者ごとに滅菌を行うこと。[感染の恐れがある]
- ⑤最大許容回転数を超過して使用した場合、破折しやすくなり、けがをする恐れがあるので最大許容回転数以下で使用する。但し、製品包装に記載されている最大許容回転数と、最新の電子化された添付文書に記載されている最大許容回転数が異なっている場合は、添付文書に記載されている回転数以下で使用する。*
- ⑥目の損傷を防ぐために、保護めがねなどで防御すること。又、保護グローブなどを使用して、適切な保護措置を講じること。万一目に入った時は、すぐに多量の流水で洗浄し、眼科医の診断を受けること。
- ⑦本品の使用中に、患者の顔や歯肉を傷つけないよう注意すること。
- ⑧本品を使用する際には、粉塵による人体への影響を避けるため、局所吸塵装置や公的機関が許可した防塵マスクなどを使用し、粉塵を吸入しないこと。
- ⑨損傷、変形、錆、表面キズ、曲がり及び汚染等のあるものは、使用しないこと。
- ⑩本品は、使用により摩耗や破折の可能性が生じるので、破損状態を見極め、使用回数は5回を限度に適宜交換すること。5回を超えない場合でも、作業部に斑点が現れた場合には、使用を中止し交換すること。[ダイヤモンド粒子の不足により研削力が低下する、及び加熱の原因となる。]
- ⑪必要に応じて超音波洗浄を行うこと。
- ⑫中性洗剤（pH5.5～8.5）及び酵素洗浄剤の使用を推奨する。以下の物質を含む洗浄剤及び消毒剤は使用しないこと。
 - ・酸性及びアルカリ性溶液
 - ・酸化剤（例 塩素、ヨウ素、臭素）
 - ・有機溶剤（例 エーテル、ケトン、ベンゼン）
 - ・芳香族炭化水素及びハロゲン炭化水素
- ⑬オートクレーブ滅菌中及び滅菌後の錆を防ぐため、防錆剤を必要に応じて使用すること。
- ⑭本品は、歯科医療有資格者以外は使用しないこと。
- ⑮本品は、【使用目的又は効果】に記載の用途以外は使用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

【保管方法】

- ①水分、腐食性薬剤及びその蒸気の暴露を避けて、外圧（物理的負荷）及び汚染を受けないように保管する。
- ②錆びている器具と一緒に保管しない。
- ③歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理する。

【保守・点検に係る事項】

使用後、洗剤を用いて洗浄し、使用前と同条件で滅菌する。

【使用者による保守点検事項】

- 1) 再使用する際には、使用後できるだけ早く、清掃液を用いて付着物を除去し、滅菌を行う。
- 2) 乾熱滅菌や次亜塩素酸ナトリウム等の塩素系消毒剤は使用しない。
- 3) 洗浄剤、防錆剤及び滅菌器については、各製造業者の指示に従い、正しく使用する。
- 4) 使用に際しては、損傷、摩耗、変形、錆、表面キズ、曲がり及び汚染等がないかを確認する。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：株式会社ジーシー

発売元：株式会社ジーシー
 住所：〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番14号
 電話番号：（お客様窓口）0120-416480